

平成23年度 事業報告

岡山理科大学附属中学校

中高六年一貫教育により勉強と課外活動を両立させながら、6年後は全国のトップ大学および医歯薬獣系大学、関連大学へ進学させることを通じて、日本社会各分野のトップリーダーとなる人材を育成する。



中高六年一貫制による思い切った先取り教育に加え、①自習教室（チューターによる支援強化）②トワイライト・セミナー

（学外有力講師による大学受験指導）、の充実により、生徒一人ひとりに対するキメ細かいフォローを行い、超難関大学・医歯薬獣系大学への進学実績を向上させると共に、課外活動（部活動・生徒会）を活発化させ、健全な体力と充実した気力を兼ね備えた、バランスの取れた人間形成をはかる人づくり教育

Human Education を充実させていきました。

また、岡山理科大学の支援により、理科実験を大幅に充実させることにより、理科教育に力を入れ、小学生向けの理科実験教室を定期的で開催し、「理科教育の理中」の特長を伸ばしていきました。

岡山理科大学附属中学校 校長 新倉 正和

教育の充実

■MEDICALクラス、PREPクラス

3年生から、学力強化を図るため、MEDICAL（医系進学）クラスとPREP（難関大学進学）クラスのクラス分けを行い、学力上位層の強化および下位層の底上げをはかりました。生徒一人ひとりに対するキメ細かいフォローを行い、超難関大学・医歯薬獣系大学への進学実績を向上させました。

■「理科教育の理中」の特長の強化

岡山理科大学基礎理学科理数系教員コースおよび科学ボランティアリーダーGPの教育・活動の一環として、院生・学生を定期的に派遣してもらい、理科授業中における実験の回数を大幅に増加させ、理解度向上をはかりました。

また、課外活動において、科学部やロボット研究部を立ち上げ、昨年に引き続き、学会やロボコンへの参加・受賞を目指しました。

これまでに採択された文部科学省SPP（サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト）に加え、今年度より3年間採択された文部科学省「中高生の科学部活動振興事業」プロジェクトを核として、一層の理科教育充実を図っていきました。

■人づくり教育 Human Education

知力を重んじる傾向が強い現代世相の中で、知・徳・体の調和の取れた優秀な人材を育成することが重要であり、Human Education の強化を再認識すべき時と考えます。昨年度よりHuman Education の試み、外部講師(位田隆久先生)による論語教育を実施しました。

■チューターによる自習教室

昨年度に引き続き、放課後、自習教室を設け、岡山理科大学の大学院生をチューターとして配置し、生徒の質問に答えるなど、学力向上を計りました。特に、学力下位層については、指名補習も実施し、弱点強化をはかりました。

■イマージョン教育（英会話、芸術科目）

専任ネイティブ教員によるイマージョン教育（英会話、芸術科目）を継続・強化し、生活感覚の中から英語力を強化するとともに、グローバル・スタンダードを持ち、国際社会で活躍できる人材の育成をはかりました。

■教育交流協定の締結

一昨年度インフルエンザ流行のため中断した南オーストラリアのバンクシャー・インターナショナルハイスクールへの海外研修を再開し、同校との教育交流協定を締結して、相互の交流を深めるとともに、同校への海外研修の範囲を拡大する可能性を追求しました。

■校外研修、インターアクト活動の推進

これまで関連大学や関連専門学校への医療分野や芸術分野の研修を実施してきましたが、それに加えて人間力・自発力の向上を目的として、岡山理科大学の教育G Pの支援を受け、「屋久島での自然体験・環境学習」、牛窓ヨットハーバーにおける段ボール製ボート作りを中心とした「ものづくり自然体験学習」等を実施します。一昨年度から、岡山北西ロータリークラブの支援でインターアクト活動を開始していますが、ミャンマーへの支援活動とともに老人介護施設「済生会ライフケアセンター」でのケア活動支援を継続し、実施しました。

新規事業報告

■スーパー選抜クラス・選抜クラスの新設

設立10周年を迎えた理中（中高6年一貫）では、これまで1期生から4期生までが卒業しました。国立大学医学部医学科や東京大学、難関私立大学への進学を果たしています。思い切った先取り教育をベースとした、理中独自のMEDICAL/PREPクラス制が生徒一人ひとりの能力を引き上げるのに適したシステムを更に進化させ、大学附属のメリットを最大限に生かした理科教育の「スーパー選抜クラス」「選抜クラス」を導入し、平成24年度入試を実施しました。

生徒募集計画

■広報活動

生徒募集活動においては、塾及び小学校との連携をより一層深めるために、実施日を決めて教員が塾及び小学校への一斉訪問を実施しました。8月下旬に開催するオープンスクールに実験教室、バレーボール教室、ソフトテニス教室、イマージョン教育の授業、講演会を組み込むなど魅力ある内容にしました。また、学校案内をはじめ学内発行の新聞やPR冊子を、小学校及び小学校PTA並びに塾や町内会、ロータリークラブ宛にも発送し、学校のPR活動に努めました。体育祭並びに学習発表会の開催の案内も併せて実施しました。町内会、ロータリークラブ等との連携を通して、地域に愛され親しまれる学校づくりに努めました。

■具体的な方策

- ①小学校の重点学区を設けて、学校案内や入試要項を6年生全員に配布しました。
- ②重点塾を設けて、実験教室の案内をひとあし先に配布する。重点塾を対象にした実験教室を行うなど、塾との関係の強化を図りました。
- ③入試説明会やオープンスクールで医歯薬系に関する講演会を行いました。
- ④ソフトテニス部のジュニアチームに出向き、指導を行うなどして交流をはかると同時にPRを行いました。
- ⑤岡山シーガルズの河本監督と協力して、スポーツ少年団を回るなど、女子バレーボール部のPRを行いました。
- ⑥美術の授業で牛乳パックから手作りのハガキを作り、出身小学校にオープンスクールや近況報告を行いました。

■入試説明会

- | | |
|------------|--------------------------|
| 7月 4日 (月) | 塾対象 |
| 9月23日 (金) | 適性検査対策講座 |
| 10月29日 (土) | 適性検査対策講座 |
| 11月11日 (金) | トワイライト説明会
(天文観測会同時開催) |
| 11月26日 (土) | 神戸・姫路説明会 |
| 12月 3日 (土) | 入試直前説明会 |

■オープンスクール

- | | |
|-----------|------------|
| 7月30日 (土) | 9:30~12:00 |
| 8月28日 (日) | 9:30~12:00 |
| 8月29日 (月) | 9:30~12:00 |

■実験教室

- | | |
|-----------|------------|
| 7月30日 (土) | 9:30~12:00 |
| 8月28日 (日) | 9:30~12:00 |
| 8月29日 (月) | 9:30~12:00 |

主な行事

4月 9日	入学式
6月28日	P T A総会、授業参観
7月29日	休み前集会
9月 1日	休み明け集会
9月10日	体育祭 (岡山ドーム)
9月29日	前期終業集会
10月3日	後期始業式
11月5日	学習発表会
12月17日	自己推薦入試
12月18日	一次入試A日程
12月24日	休み前集会
1月 5日	一次入試B日程
1月10日	休み明け集会
1月20日	百人一首大会
1月21日	二次入試
3月16日	義務教育修了式
3月17日	海外研修 3/25まで
3月19日	修了式

生徒・教職員数

■在籍生徒数

(平成23年5月1日現在)

学校名	入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
岡山理科大学附属中学校	80	63	240	160

(単位：人)

■卒業生数等一覧

(平成23年度)

区分	修了者	内部進学者	その他	退学者・除籍者	休学者	留年者
岡山理科大学附属中学校	61	40	11	0	0	0

(単位：人)

■教員数

(平成23年5月1日現在)

校長	教頭	教諭	教員計	事務職員
(1)※	1	14	15	2

※校長は大学教員と兼務

(単位：人)

財務関係

■消費収支

(単位：千円)

科目	年度 23年度 決算額	前年度 決算額
学納金収入	88,988	85,977
補助金収入	56,635	57,567
その他収入	4,987	4,283
帰属収入合計	150,610	147,827
基本金組入額合計	△ 682	0
消費収入の部合計	149,928	147,827
人件費	161,606	167,348
教育研究経費	37,384	35,843
管理経費	18,796	20,314
その他支出	64	0
消費支出の部合計	217,850	223,505

■施設設備整備計画（抜粋）

(単位：千円)

事業名	金額
理科用実験器具一式	267
財務サーバー等の構築	531